

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2022.3.28 12:00～13:00

場所：Zoom 開催

出席：16名

委員会開催後のメール等での議論を含め、議事の概要は以下のとおりです。

1. 年会での教育委員会の活動について

令和7年度入試に向けた勉強会を対面にて開催する予定でしたが、対面での年会開催中止決定を受け、リモートでの勉強会開催も模索致しましたが、最終的に開催中止を委員会として3月上旬に決めました。委員長作成の説明スライドの扱いについては、期間限定公表案もありましたが、議論の末、数学会 HP 教育委員会の枠に、将来役立つことを期待し資料として掲載することが委員会です承されました。スライド資料はすでに HP に公開され、また、数学会 HP 上のニュース掲載、そしてニュースレターの配信も行いました。

2. 秋季総合分科会（北大）でのシンポジウム開催について

開催することで意見が一致しました。テーマの決定や講演者の人選等については、委員長（佐野）・副委員長（高倉樹、川添充）そして次期副委員長（伊藤由佳理）の4名にて行うことが委員会です承されました。今後のシンポジウムでも大きなテーマとして「数理・データサイエンス・AI 教育」（特に、データサイエンスと数学教育という視点から）を扱う方向とし、2020 年度年会（日本大学）での教育シンポジウム（開催中止）テーマ「数理・データサイエンス教育の発信と波及」を継続採用することとしました。講演は、拠点校から溝口佳寛先生（九州大学）、そして平野幹先生（愛媛大学）にお引き受けいただきました。学会初日午後の開催予定です。

3. 委員の交代について

内規により前委員長として委員に留任された牛瀧文宏委員（通算9年）、伊藤仁一前副委員長（通算8年）、松井優委員（通算8年）の退任を迎えました。高倉樹副委員長の後任として、伊藤由佳理委員が選出され、また新委員3名の推薦があり、委員会です承されました。委員会の最後に、退任される委員の方々からの挨拶がありました。

4. その他

上述の2020 年度年会（日本大学）での教育シンポジウム（開催中止）に関する情報を、教育委員会 HP に掲載することが了承され、すでに公開されています。

文責 教育委員会委員長 佐野隆志